

# 初のオンラインツアー開催へ

## 名古屋芸術大などと産学連携

### 鯨バス

貸し切りバス・バスツアー運営の鯨バス(本社名古屋南区滝春町1の80、宇津木滋社長、電話052・825・4111)は、同社初のオンラインツアー「デジタルライブツアー」の販売を、名古屋芸術大学(本都北名古屋市)と愛知県内3社との産学連携プロジェクトとして開始した。全国に愛知の魅力を発信する。クラウドファンディング(CF)サービスの「マクアケ」で、22日まで参加者を募集している。(吉川英司)

### CFで参加者募集

ツアー内容は、名古屋芸大先端メディア表現コースの竹内創教授、加藤良将講師の指導の下で学生たちが



名古屋芸術大学  
NAGOYA UNIVERSITY OF THE ARTS

ツアー内容は名古屋芸大生とともに企画した(ユーチューブのPR動画から)



えびせんの里、まるや八丁味噌、大野精工「キングファームカフェ」と連携(ユーチューブのPR動画から)

### 魅力を再発見

企画した。

ツアー先として、えびせんべい製造販売のえびせんの里(本社美浜町)、老舗豆みそ製造業者のまるや八丁味噌(同岡崎市)、バウムクーヘンが人気を博している大野精工(同西尾市)の飲食店事業「キングファームカフェ」の3社と連携する。配信で各社の担当者が見学できない製造現場などを紹介する。

また、配信でありながら「五感で楽しめるツアー」として、参加者には事前にも「えびせん詰め合わせ、赤だしみそ、ミニバウムクーヘンのセットを「プチおみやげ」として送付。配信に合わせて味わったり、においを感じてもらおうことで、臨場感を演出する。

宇津木社長は企画の狙いについて、「来年の創業70周年に向けた新事業展開」と位置付けている。

同社のツアー利用客は、東海4県下に多いが、今後は全国からの観光客誘致を強化したい考えだ。そのきっかけとして、全国から視聴できるオンラインツアーで、知名度向上を狙う。

ただ、オンラインツアーは大手他社に先行例がある。差別化のためにCFを利用し、産学連携や地域の魅力発信という、ストーリー性を強調する。

参加費用は6800円と、一般的な配信ツアーよりやや高めに設定した。同社デジタルイノベーション推進プロジェクトの宇佐見洋治プロジェクトリーダーは「テストマーケティングのため、価格帯も含めてチャレンジングに企画した」と説明している。